

平成26年度 八代市立博物館未来の森ミュージアム 活動記録

◆特別展覧会活動（特別展示室・第2常設展示室）

- (1) 春季特別展覧会「京都相国寺と金閣・銀閣の名宝展」
会期 平成26年4月25日(金)～6月1日(日) 開館日数 33日間
入館者 9,319名
- (2) 夏季特別展覧会「弥生人を追跡せよ！！」
会期 平成26年7月18日(金)～8月31日(日) 開催日数 39日間
入館者 2,127名
- (3) 秋季特別展覧会「もののふの美と心―八代城主・松井家の刀剣と刀装具―」
会期 平成26年10月24日(金)～11月30日(日) 開催日数 33日間
入館者 4,540名
- (4) 冬季特別展覧会「お姫さまの婚礼道具」
会期 平成27年2月6日(金)～3月22日(日) 開催日数 39日間
入館者 2,040名

◆常設展示活動（第1常設展示室・第2常設展示室）

第1常設展示室（各コーナーを2～5期に分け展示替）

八代焼（茶の器、江戸末～近代の諸窯、象嵌の技法、飲食の器）／古文書を読む（釈迦院の古文書、悲劇の武将尾藤金左衛門、死を伝えることば、古文書が語る加藤正方、西山宗因の世界）／信仰のかたち（釈迦院の仏神像、極楽浄土への憧れ、八代のほとけ）／肥後鐔の魅力／八代遺跡めぐり（発見！弥生時代の集落、田川内1号墳と八代の古墳、弥生時代から古墳時代へ、古墳時代の技）／妙見祭（飾馬、笠鉦のヒミツ、亀蛇の競演）／和紙（広重の絵封筒、八代の御用紙漉き、さまざまな和紙の用途、和紙作りの道具、千代紙）／民俗（米作りの道具、むかしの道具、一間羽子板）

第2常設展示室（松井文庫所蔵品常設展示）

- ・道中風景絵巻～殿が立ち寄った観光スポット～ 6月3日(火)～7月21日(月)
- ・武の備え 7月23日(水)～9月7日(日)
- ・能面・能装束 9月9日(火)～10月19日(日)
- ・森派の絵画 12月2日(月)～1月25日(日)
- ・古典文学の世界 1月27日(火)～3月15日(日)

◆講座・講演会活動

日 時	内 容	講 師	参加者
4月26日(土)	春季展講演会「京都相国寺の歴史と名品～展覧会鑑賞のツボ～」	鳥津亮二(当館学芸係長)	137人
5月24日(土)	友の会講演会「激動の幕末維新ーそのとき松井家は！ー」	木山貴満氏(熊本市立熊本博物館学芸員)	76人
7月26日(土)	夏季展講演会「ここまでわかった！弥生時代の八代」	西山由美子(当館学芸員)	57人
8月23日(土)	体験講座「弥生人の宝物、小銅鐸をつくろう！」	西山由美子(当館学芸員)	62人
10月25日(土)	秋季展講演会「刀剣講話ー松井家伝来刀の魅力」	稲田和彦氏(京都国立博物館名誉館員)	129人
11月29日(土)	秋季展講演会「戦国時代の松井家」	林千寿(当館学芸員)	79人
11月15日(土)	冬季展実演講座「刀剣研磨師のしごと」	正海郁雄氏(刀剣研磨師)	128人
11月8日(土)	やつしろ連歌会	鶴崎裕雄氏(帝塚山学院大学名誉教授)他5名	43人
2月14日(土)	冬季展講演会「松井章之と琴の結婚」	林千寿(本館学芸員)	63人
8月～11月(8回)	古文書講座(初級編)	林千寿(本館学芸員)	延べ244人
通年(10回)	古文書講座(上級編)	蓑田勝彦氏(八代古文書の会)	延べ120人
その他	外部への講師派遣 計14回	本館学芸員	1,098人

◆主な調査事業

松井文庫所蔵古文書調査事業(平成6年度～、21年目)

調書作成・写真撮影 平成26年6月23日(月)～6月27日(金) 247通

調査指導 熊本大学附属永青文庫研究センター特任教授 川口恭子
元 北九州市立いのちのたび博物館歴史課長 永尾正剛

外部参加 熊本県立美術館、熊本市立熊本博物館、福岡市教育委員会、久留米市教育委員会、北九州市立いのちのたび博物館、肥後銀行ギャラリー開設準備室など

◆入館状況

開館日数 292日

入館者総数 32,076人(有料入館者10,910人/小中学生5,469人/無料入館者15,697人)